



令和4年10月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和4年10月分について、輸出額は「石油製品」、「自動車の部分品」、「映像機器」などが増加したことから、対前年同月比 20.5%の増加となった。また、輸入額は「原油及び粗油」、「液化天然ガス」、「石炭」などが増加したことから、同 73.4%の増加となった。

その結果、差引額は1,161億円（同 167.9%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	932億円	+20.5%	2,092億円	+73.4%	▲1,161億円	+167.9%
	19カ月連続の増加		19カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 石油製品	107億円	+138.2%	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	979億円	+50.4%
		(2) 自動車の部分品	99億円	+130.6%			(2) 液化天然ガス	456億円	+188.8%
		(3) 映像機器	48億円	3,662倍			(3) 石炭	88億円	29倍
	減少品目	(1) 自動車	50億円	▲49.0%		減少品目	(1) 粗鉱物	0億円	▲91.8%
		(2) 科学光学機器	5億円	▲83.0%			(2) コーヒー	6億円	▲21.1%
		(3) 通信機	0億円	▲98.9%			(3) 半導体等電子部品	1億円	▲57.7%
地域別動向		アジア、北米が増加、西欧は減少			地域別動向		中東、大洋州が増加、中南米は減少		

（参考）ドルレートは、145.09円（前年同月比 30.2%、33.67円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。